



分水児童館内 分水児童クラブだより



令和6年2月1日

1年生も自主的に机に向かい宿題を行っています。2年生以上の子ども達は、宿題の量が増えたり難しくなったりして「ぶつぶつ」言いながらも頑張って何とか終わらせています。でも、学校での出来事や帰ってくる時間、その日の体調や感情に大きく左右される子ども達はいつも同じようにできるとは限りません。「やらなくちゃ!!」と思いながらも思うように勧められずに心乱れてしまったり、ついつい先送りしてしまったりする子どももいます。また、高学年になると入室した頃には遊ぶ時間がなくなってしまう場合も出てきます。そんな時には家庭で宿題を自主的に行う約束をして遊ぶ事を優先することもあります。たとえ10分でも15分でも思い切り遊ぶことでその日の様々な感情を整理したり、解消したりすることにつながります。子どもに確認すると「家に帰ってから一番にしたよ!!」と自慢顔で教えてくれます。特に高学年は家庭や自分の予定を考え、自分で計画を立てて行えるようお願い関わっています。

成長するにつれ大人の日も手も届きにくくなっていく子ども達に、今してあげられることは「やらせる」学習ではなく、毎日の食事と同じように行う学習習慣と、自ら学ぼうとする学習意欲を育むことだと思っています。その為には、日々の大人の関わりがとても重要なのだと感じています。

家庭で学習の確認をした際には、その頑張りを認め子どもが「よし、明日も頑張ろう!!」という気持ちになれるような褒美言葉を是非かけてあげましょう。



…子ども達の様子…

4時半頃になると体を動かしたくなる子どもが多く、ドッジビーや風船ドッジ、ちょっと見かくれんぼ、テーブル卓球などを行っています。ドッジビーではジャンピングキャッチやスライディングキャッチなどびっくりするくらい上手になりました。子ども達にとって、強く投げるかっこよくキャッチするというのも重要なようですが、キャッチ後回転レシーブのように転がるパフォーマンスは、危険なので中止にしました。テーブル卓球も1, 2年生同士でも10回以上ラリーが続くようになりました。まだ上手く返せない子や関心を示さない子ども達には、壁打ちやカップインピンポンを勧めると喜んでやっていました。このような動的活動と読書や工作、ごっこ遊びなどの静的活動をバランス良くできるように、準備や環境設定をしていきたいと思っています。

……子どもと職員の会話……



職…タオルの落し物があるけれど誰のかなー？ 男子A…チョットかしてー(そう言うとかんくんと匂いをかいていました)
その他の子ども達も同じようにして……全員が「これは〇〇くんのだよ」と一致していました。

職…すごいねー。なんでわかるの？ 男子A…洗濯の匂いでわかるんだよ 職…そうだったのね

子…やっぱりクラブが勉強に一番集中できるな!! 職…えっお家じゃないの？ 子…家は集中できないよ

職…なんで?? 子…ゲームにUチューブに大事なおもちゃ、漫画本…気になるのがいっぱいあるんだよ!!



…お願い…



インフルエンザやコロナ、嘔吐、下痢症など、寒い時期は
要注意の感染症がはいばいです。手洗いうがいマスク着用
たっぷりの睡眠とバランスの良い食事など
予防に心がけましょう。



子どものこと家庭や保護者自身のことなど、
困ったこと心配なことなどありましたら、いつでも
話してください。

【随時相談や面談を行っています】



燕市分水児童館内「分水児童クラブ」

燕市分水あけぼの1-1-91

TEL 0256-97-2126 fax 0256-97-2137

Email ko107.bunsui@g.tsubame-city.ed.jp

